

令和7年10月25日

関係各位

長野県災害リハビリテーション支援関連団体協議会（長野 JRAT）

代表 堀内博志（公印省略）

副代表 林有理（長野県理学療法士会会長）

副代表 傳田拓男（長野県作業療法士会会長）

監事 寺島さつき（長野県言語聴覚士会会長）

長野県と長野 JRAT との災害リハビリテーション支援チームに関する協定

締結式の報告

この度、長野 JRAT は長野県と「災害リハビリテーション支援チームに関する協定」を締結したことを、ご報告させていただきます。

令和7年10月21日、長野 JRAT 代表の堀内博志（信州大学附属病院リハビリテーション科教授）、副代表の林有理（長野県理学療法士会会長）・傳田拓男（長野県作業療法士会会長）、監事の寺島さつき（長野県言語聴覚士会会長）、および長野 JRAT 事務局の大池遼・増澤尚樹（長野県理学療法士会 災害対策部）、の6名にて県庁に赴き、協定締結式を執り行ってきました。

県庁側からは、長野県健康福祉部長の笹渕美香様、長野県健康福祉部 健康福祉政策課長の棚田益弘様、企画調整の小林様・木次様・松田様の5名が参加してくださいました。



「堀内代表と笹渕部長による調印」



「左から、寺島監事、傳田副代表、林副代表、

堀内代表、笹渕健康福祉部長、棚田政策課長」

各代表者のコメントとして、

堀内代表は、「昨年に防災基本計画に初めてリハビリテーションの関連の項目が設定され、国から災害リハビリテーションを認知していただいた。この協定を通じて、県・関連団体と平時から緊密な関係を構築し、長野 JRAT の活動をますます充実し、災害に強い長野県に貢献できるようにしていきたい。」

笹渕健康福祉部長は「災害による死者の多くは災害関連死とされており、避難所において生活不活発病などを予防する災害リハビリテーション体制の整備は非常に重要なものだ」と認識している。今回の協定締結は県の体制強化にもなり、顔の見える関係を構築し平時から連携強化していきたい」とした。

この協定締結により、長野 JRAT は県の要請に対して早期より活動ができるようになった。災害リハビリテーションの活動費用等が県・国が負担されることとなった。

今後長野 JRAT は、防災訓練参加などを通じて県と平時より連携をより深めていく一方で、長野 JRAT として研修会の企画や、体制強化を充実させていく予定です。関係者皆様のご協力もよろしくお願いします。

以上

長野県災害リハビリテーション支援関連団体協議会（長野 JRAT）

事務局 大池遼・増澤尚樹

Email:saigai3.ptnagano@gmail.com